

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 妙徳

コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中森俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 伊勢幸治

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日

平成26年8月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,137	12.0	205	44.8	210	33.6	138	33.6
25年12月期第2四半期	1,016	△6.8	141	△29.2	157	△23.0	103	△18.1

(注)包括利益 26年12月期第2四半期 130百万円 (△0.5%) 25年12月期第2四半期 131百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	18.62	18.56
25年12月期第2四半期	13.64	13.64

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
26年12月期第2四半期	3,940		3,467	87.5	
25年12月期	3,832		3,381	87.7	

(参考)自己資本 26年12月期第2四半期 3,449百万円 25年12月期 3,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	3.50	—	4.50	8.00
26年12月期	—	5.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,346	12.0	357	4.4	374	5.9	241	7.1	32.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	8,285,000 株	25年12月期	8,285,000 株
26年12月期2Q	844,024 株	25年12月期	804,024 株
26年12月期2Q	7,459,385 株	25年12月期2Q	7,622,972 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

- ・平成26年8月29日(金)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期前半は消費税率引き上げ前の駆け込み需要、期後半はその反動による鉱工業生産の減少など大きく変動いたしました。総じては政府の経済政策及び日本銀行による金融緩和を受け、企業業績や雇用情勢の改善、設備投資、個人消費に伸びが見られるなど、景気は緩やかな回復基調が続いてまいりました。しかしながら、先行きは、米国金融緩和縮小による影響や新興国の景気減速懸念等、依然として楽観視できないものがあります。

当業界におきましては、輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界からの受注回復が見られ、当社グループの主要顧客業種である半導体製造装置業界においても、一部、設備投資需要に、上向きの兆しが見られました。

このような環境下、当社グループは、製品開発部門と営業部門を組織統合することにより、顧客ニーズに応える迅速な新製品開発と拡販の体制をより強固にするとともに、海外生産の拡充によるコストダウン及び製品供給力強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,137,675千円(前年同期比112.0%)、連結経常利益は210,481千円(前年同期比133.6%)、連結四半期純利益は138,860千円(前年同期比133.6%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界の設備投資需要の改善などにより、売上高は766,012千円(前年同期比101.9%)となりました。営業利益については152,285千円(前年同期比159.0%)となりました。

② 韓国

現地調達率の拡大により、コストダウン及び製品供給体制の強化を図り、既存顧客の深耕及び新規顧客の開拓を推し進めてまいりました。この結果、売上高は219,557千円(前年同期比155.7%)となりました。営業利益については41,480千円(前年同期比190.7%)となりました。

③ 中国

成長鈍化による景気減速懸念がありましたが、販売体制を強化し拡販を推し進めてまいりました。この結果、売上高は103,275千円(前年同期比123.0%)となりました。営業利益については11,225千円(前年同期比49.1%)となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりました。この結果、売上高は48,829千円(前年同期比123.4%)となりました。営業利益については665千円(前年同期比53.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ36,919千円増加し、1,561,078千円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が66,974千円、製品が38,896千円、流動資産のその他が18,000千円増加したのに対し、現金及び預金が60,238千円、仕掛品が34,697千円減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ71,254千円増加し、2,379,230千円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ108,173千円増加し、3,940,308千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ32,853千円増加し、337,295千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が25,706千円、流動負債のその他が31,826千円増加したのに対し、未払法人税等が14,671千円減少したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10,353千円減少し、135,616千円となりました。これは固定負債のその他が602千円増加したのに対し、退職給付引当金が10,956千円減少したことによりです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ22,499千円増加し、472,912千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ85,673千円増加し、3,467,396千円となりました。これは主として利益剰余金が105,234千円増加したのに対し、自己株式の取得により10,219千円減少したことによりです。

その結果、自己資本比率は87.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前連結会計年度末に比べ70,676千円減少し、622,512千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益210,549円に加え、減価償却費83,848千円、仕入債務の増加額26,266千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額79,340千円、売上債権の減少額68,159千円等の減少要因により126,066千円の資金収入(前年同期比43.5%)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出122,245千円等の減少要因により149,821千円の資金支出(前年同期比109.9%)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出10,219千円及び配当金の支払額33,750千円の減少要因により43,969千円の資金支出(前年同期比127.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想(2014年2月13日)から修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	711,018	650,779
受取手形及び売掛金	439,925	506,900
製品	133,224	172,121
仕掛品	100,739	66,041
原材料	66,882	74,015
繰延税金資産	40,214	41,159
その他	32,608	50,608
貸倒引当金	△455	△548
流動資産合計	1,524,159	1,561,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,324,386	1,440,145
減価償却累計額	△507,593	△544,897
建物及び構築物(純額)	816,792	895,248
機械装置及び運搬具	744,249	770,781
減価償却累計額	△543,082	△564,077
機械装置及び運搬具(純額)	201,166	206,704
土地	738,579	738,632
その他	499,488	498,828
減価償却累計額	△406,095	△417,019
その他(純額)	93,393	81,809
有形固定資産合計	1,849,932	1,922,394
無形固定資産	98,913	93,144
投資その他の資産		
投資有価証券	168,428	167,881
繰延税金資産	3,272	1,584
長期預金	134,619	134,690
その他	52,810	59,535
投資その他の資産合計	359,130	363,691
固定資産合計	2,307,976	2,379,230
資産合計	3,832,135	3,940,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,365	69,072
未払法人税等	78,829	64,158
賞与引当金	38,726	35,305
役員賞与引当金	16,855	10,268
その他	126,665	158,491
流動負債合計	304,442	337,295
固定負債		
退職給付引当金	116,936	105,980
その他	29,033	29,635
固定負債合計	145,970	135,616
負債合計	450,412	472,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	1,775,269	1,880,503
自己株式	△176,098	△186,317
株主資本合計	3,293,062	3,388,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,766	24,682
為替換算調整勘定	41,545	36,387
その他の包括利益累計額合計	69,312	61,070
新株予約権	13,818	13,050
少数株主持分	5,529	5,197
純資産合計	3,381,722	3,467,396
負債純資産合計	3,832,135	3,940,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,016,144	1,137,675
売上原価	481,857	495,379
売上総利益	534,286	642,295
販売費及び一般管理費	392,305	436,638
営業利益	141,981	205,657
営業外収益		
受取利息	1,851	816
受取配当金	2,580	3,026
為替差益	10,973	-
受取地代家賃	2,521	3,130
助成金収入	-	2,040
受取保険金	-	259
その他	781	747
営業外収益合計	18,708	10,019
営業外費用		
売上割引	106	86
為替差損	-	2,000
減価償却費	2,595	2,902
その他	469	206
営業外費用合計	3,171	5,196
経常利益	157,517	210,481
特別利益		
固定資産売却益	517	-
投資有価証券売却益	5,046	-
新株予約権戻入益	164	767
特別利益合計	5,728	767
特別損失		
固定資産除却損	-	699
投資有価証券売却損	100	-
特別損失合計	100	699
税金等調整前四半期純利益	163,145	210,549
法人税、住民税及び事業税	61,235	69,450
法人税等調整額	△2,060	2,432
法人税等合計	59,175	71,883
少数株主損益調整前四半期純利益	103,970	138,666
少数株主利益	-	△193
四半期純利益	103,970	138,860

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,970	138,666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,473	△3,084
為替換算調整勘定	21,955	△5,157
その他の包括利益合計	27,429	△8,241
四半期包括利益	131,399	130,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,399	130,756
少数株主に係る四半期包括利益	-	△332

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	163,145	210,549
減価償却費	77,902	83,848
固定資産除却損	-	699
固定資産売却損益(△は益)	△517	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,945	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△149	90
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,997	△3,218
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	5,856	△6,430
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,557	△11,007
受取利息及び受取配当金	△4,431	△3,842
売上債権の増減額(△は増加)	43,259	△68,159
仕入債務の増減額(△は減少)	13,497	26,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	44,325	△11,361
未払金の増減額(△は減少)	△10,393	△24,642
その他	△3,353	8,772
小計	330,636	201,563
利息及び配当金の受取額	4,431	3,842
法人税等の支払額	△45,116	△79,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,951	126,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,952	△16,543
定期預金の払戻による収入	18,487	5,476
投資有価証券の取得による支出	△13,113	△4,558
投資有価証券の売却による収入	13,329	-
有形固定資産の取得による支出	△130,614	△122,245
有形固定資産の除却による支出	△5,003	-
有形固定資産の売却による収入	3,090	-
無形固定資産の取得による支出	△1,577	△11,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,354	△149,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
少数株主からの払込みによる収入	12,789	-
自己株式の取得による支出	△20,142	△10,219
配当金の支払額	△27,047	△33,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,400	△43,969
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,082	△2,951
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,279	△70,676
現金及び現金同等物の期首残高	474,901	693,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	604,180	622,512

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	751,612	140,977	83,993	976,583	39,561	1,016,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,850	43,521	3,753	161,125	—	161,125
計	865,462	184,498	87,746	1,137,708	39,561	1,177,269
セグメント利益	95,775	21,754	22,847	140,377	1,238	141,616

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	140,377
「その他」の区分の利益	1,238
セグメント間取引消去	365
四半期連結損益計算書の営業利益	141,981

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	766,012	219,557	103,275	1,088,846	48,829	1,137,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	181,488	37,494	5,841	224,823	—	244,823
計	947,501	257,051	109,116	1,313,670	48,829	1,362,499
セグメント利益	152,285	41,480	11,225	204,992	665	205,657

(注)「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	204,992
「その他」の区分の利益	665
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	205,657